



## 南っこ集会をリモートでしました！

白水台地の陽光「さん」

19日(木)に、人権担当職員と人権委員会の子どもたちが中心になり、初の試みであるリモートによる校内人権集会(南っこ集会)を行いました。菊陽町ICT支援員の石黒さんの協力により、全学年のクラスをリモートで結ぶことができました。最後にまとめて、今回の集会の意義と各学年の発表について次のような話をしました。

### 【集会の意義について】

人権、差別、いじめに関わることは、命にかかわるようなことにもなるとても大切なことであり、人権感覚を高める南っこ集会をどんな時にも続ける必要があるということです。また、コロナ禍の中で、人権に関わる差別、いじめ、誹謗中傷があっいて、このことが、大きな社会問題にもなっているということからも、リモートを使って全校で南っこ集会を行う意義があります。

### 【各学年の発表について】

- 〈1年生〉だいじなものを守るゆうきと、ちゃんとつたえることが分かり実際の生活で生かしています。
- 〈2年生〉強いか弱いかを決めつけて態度変えをしていることに気づいたり、友達を困らせていることに気づいたりしてみんなが上手に遊べるようになっています。
- 〈3年生〉周りの人たちが、あの人はうそをついていると言っていたので、ずっとそうだと思っていたところ、人権学習をとおして、勇気を出して事実を確かめることの大切さを学ぶことができます。
- 〈4年生〉発表が苦手である友達の思いを受け止め、自分にもそういうことがあると振り返り、友達を認め・励ましながら友達関係を深める取組ができています。
- 〈5年生〉水俣の学習で、病気がうつると勘違いされたり、正しいことを分かろうとせず決めつけられたりしたことのおかしさについて気づき、人の命より利益を優先する会社に対し闘い続けた人たちの姿に学ぶことができます。そのことを、自分たちの生活と重ね合わせ、ゲームによるトラブルについてみんなで話し合い、自分のことばに責任をもつこと、クラスの仲間一人一人を大事な仲間として意識することを心がけ、常に振り返るようにしています。
- 〈6年生〉今までの自分を振り返り、自分にも「なんか違うから相手を傷つけたりすることや、差別したりする気持ちがあること」に気づき、身近なところから考えていこうと、友達や家族のことを大切にしたい、友達の気持ちをもっと知るようにしたいなど、人権学習で大切にしていきたい、意識、意欲、態度が発表の中に表れていました。6年生の日頃の学習場面、生活場面を見た場合、友達に対する接し方、下級生への接し方などに今日の発表であったようなことが表れています。このような素晴らしい6年生がいる南小学校を誇りに思い、みんなが安心して生活できる学校を皆さんの力でつくっていきましょう。



【お返しをする3年生】



### 「JA菊池茶部会より児童1人1人にお茶の配布がありました」

地元の農産物としてPR、地産地消、消費拡大につなげたい。また、子どもたちにお茶の魅力を知ってもらい、お茶を飲んでいただく機会になればと、菊池郡市の小中学生全員に配布されましたので、子どもたちに持たせました。ご家庭で「菊池のお茶」をお楽しみください。



